

SSKR

にじの会だより

Vol.97



社会福祉法人 にじの会

理事長 石崎 優仁

〒181-0015 東京都三鷹市大沢1-6-3

TEL 0422-39-2411

FAX 0422-39-2412

ホームページ: nijinokai.org

第18回 にじの会 文化行事



第18回にじの会文化行事を3月13日（金）に三鷹市公会堂光ホールに於いて三年振りに開催しました。今回は、初めて参加するハーモニーB型利用者や放課後等児童デイサービスの児童らも含め、来場者は300名にのぼり賑やかな会場となりました。第一部は首都圏唯一の民族歌舞団「荒馬座」による公演でした。ダイナミックな太鼓の演奏と勇壮な舞が始まったとたん誰かがステージに引き込まれました。荒馬踊りでは、跳人のラッセラーの掛け声に会場も答える形で一体感が生まれ、大いに盛り上がりました。獅子舞も圧巻でした。大きな獅子の他小さい獅子会場に繰り出し、観客の頭をやさしく噛みながら廻り、会場をさらに沸かせました。沖縄民謡など初めて触れる演目もあり、利用者の目には新鮮に映ったと思います。中には一緒にしっとりと歌っている利用者もありました。にじの会の利用者の選抜メンバーが荒馬座と共演したソーラン節では、躍動感溢れる太鼓を叩きながら楽しそうなメンバーの表情が印象的でした。



第二部の音楽交流会は、にじアート工房創楽のディズニーメドレーの演奏とダンスにはじまり、園芸グループの創作ダンス、そして今回初登場のハーモニーのメンバーの太鼓の演奏、未来工房の手話歌とパレードと続き、最後に会場全体で「にじ」を歌って締めくくるという内容でした。発表は、それぞれ練習の成果と熱演を大勢の前で楽しく披露することが出来たと思います。今回初参加のハーモニーのメンバーは練習もほとんどなく本番に臨む流れでしたが、潑刺とした完璧な太鼓の演奏を披露してくれました。皆さん楽しかったよ、とコメントをいただきました。また未来工房にじのメンバーは、ほぼ全員が参加するという過去に見ない大勢での参加となり、開場に降りて練り歩き、パレードを行いお祭りの演出を盛り上げたと思います。三年に一回開催のイベントですが、今回も様々な方の助力により滞りなく終えることが出来ました。実行委員を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。

文化行事担当 羽石 敏



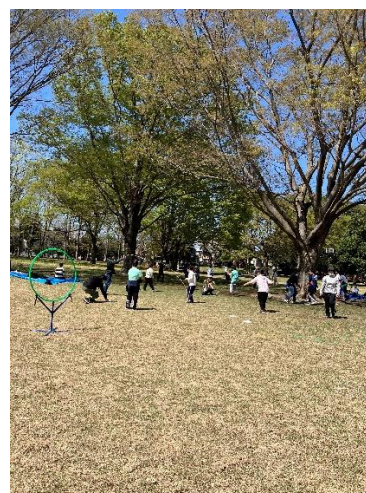


第 1 2 回 ウォーキング大会

4 月 3 日（金）野川公園にて「第 1 2 回にじの会ウォーキング大会」を開催しました。昨年と同様に週初めから前日の木曜日まで雨の多い天気でしたが、大会当日は雲一つない快晴となり、青空と桜の綺麗な景色を楽しみながら歩くことができました。満開の桜の下、新年度の良いスタートなるイベントでした。

例年通りの大沢生活介護、にじアート、未来工房の他、今年度からはワークショップハーモニーの利用者さんとスタッフも加わり、普段、接することのない方々の交流が生まれ、どの工房でも利用者の笑顔が溢れる充実した一日となりました。今年度も利用者の皆さんが健康で楽しい毎日を過ごすことができるよう、安全で楽しい運動活動やイベントの企画を行っていききたいと思います。

（機能維持グループ：高橋祥亮）



第 9 1 回 施設家族連絡会



3 月 28 日（土）午後 2 時より三鷹産業プラザにおいて第 91 回施設家族連絡会を開催いたしました。当日は 74 名のご家族の参加となりました。前回に引き続き指定席ではなく、部署ごとのグループ分けを行いその中では自由席としました。2026 年度の基本指針、重点課題、各事業所・委員会の事業画計画の概要、2025 年度第三者評価、にじの会後援会より報告を行いました。

全体会終了後、大沢にじの里入所利用者ご家族と各ホーム利用者ご家族に分かれ『生活懇談会』を行いました。各部署責任者がそれぞれの事業計画の説明し質疑応答を実施しました。

にじの会では先日の個別支援計画検討会議のようにご家族と情報共有し、利用者の方の支援を行うことを基本方針としています。今後もご家族皆様のご協力をいただきながら“寄り添う支援”を継続して参ります。

（1 階生活主任：坂野）

全体会



生活懇談会



個別支援計画検討会議の実施状況報告

今年も 2026 年度個別支援計画検討会議を 3 月の一ヵ月間実施しました。利用者本人を中心に、ご家族、後見人、スタッフが参加しました。お時間のご都合や、感染症対策のために文書でのやり取りにて実施する方や、複数の場所をインターネットで結び実施する方もいました。

まずは、2025 年度のモニタリング総括にて作業や余暇活動、生活面での書面の報告と PC タブレットを用いて写真や動画で振り返った後、利用者の方の「本人の思い」がどう進捗したかを振り返りました。また 2026 年度の更なる自己実現に向けての本人の思いを改めてお聞きしました。面談にて、利用者の方から「健康に暮らしたい。」「好きな食事がしたい。」「運動がしたい。」等、ご希望が多く出ていました。「本人の思い」が実現できるように日々支援したいとします。お気づきの事がありましたら、お気軽にご連絡をして下さい。（田中克樹）



健康に過ごしたい。



新しい生活に慣れたい。



旅行に行きたい。

2026年度 基本方針と重点課題

相次ぐ自然災害と国際的政情の不安定化に加え、国内では慢性的物価高騰が進行しており、地球環境を守り社会的格差を是正するSDGsへの貢献が引き続き強く求められているところです。

また、利用者の高齢化と重度化に伴う福祉ニーズが高まるなか、にじの会として対応可能な地域ニーズを踏まえた、新たなサービス提供の必要性が増しています。同時に、福祉業界では深刻な労働力不足が恒常化しています。にじの会での不足感はいくぶん緩和したとはいえ、利用者支援の更なる充実のためには、人材の確保・定着促進とDXによる業務の効率化が欠かせません。

2025年度に常務理事3名が就任して常務会と経営会議とを中心とした集団指導体制が始動し、その定着が進んでいます。創立25周年を迎える2026年度は、この経営の世代交代への一步を、組織力の向上と合わせ、さらに前進させていくことになります。

このような経営環境に適応していくために、「2030年のにじの会のあり方」＝中期計画に基づき、SDGsに資する法人運営、障害者の権利実現に向けた取り組み、にじの会組織力の向上の3つの経営方針を中心に、以下のような「2026年度の基本方針と重点課題」を設定します。

＜環境への対応の基本方針＞

1, SDGsに資するにじの会の運営をすすめる。

①地球環境悪化への取り組み

- ・省エネ・CO2削減の取組・送迎車両のEV化促進・緑化活動の推進等
- ・循環型社会への取組（食品ロス削減・おから等の再資源化・ゴミ削減等）

②感染症・震災等自然災害・犯罪等への対策の強化

- ・新型コロナ等の感染症対応力の維持向上・震災・風水害時の対応力の強化-特に震災時のBCP訓練実施・福祉避難所機能の強化・犯罪（侵入・情報セキュリティー・虐待等）対応力の強化

③地域の共生社会化への取組

- ・地域貢献事業（高齢者向け送迎事業・子供食堂支援事業等）の継続
- ・社福ネットワークでの子ども食堂・まんぷくBOX事業の継続

＜障害者支援の基本方針＞

2, 障害者の権利実現への支援と地域生活ニーズへの対応をすすめる。

①利用者支援の基本「寄り添う支援」の充実

- ・意思決定支援・社会参加支援・地域交流・ICT活用コミュニケーション支援の充実
- ・生活の質向上（入所利用者の利用サービスの拡大・余暇や食事の向上・入浴支援体制の再整備）
- ・音楽・美術・運動の専門活動の充実
- ・日中活動等の支援環境の再構築と活動内容の拡充・医療との連携強化

②利用者・家族の高齢化への対応

- ・各専門家や高齢化対策担当を始めとした機能低下防止の取組み・認知症対応・研修の強化
- ・相談支援事業を中心とした高齢利用者の介護保険施設利用の推進（見学やニーズの適正化等）
- ・高齢家族の介護保険サービス利用・成年後見制度の利用の推進による利用者の権利擁護

③重度障害者増加への対応

- ・生活介護事業所増設に向けた地域ニーズの把握
- ・強度行動障害支援者養成研修等外部研修も積極的に活用した、組織的な支援力の向上

④自治体の障害者施策への対応

- ・地域生活支援拠点事業への具体的な取組み
- 短期入所：体験機会・緊急時受入れ等への対応
- 相談支援：緊急時支援計画の作成と必要な相談業務、基幹型との連携

⑤生活施設確保への取組

- ・新規生活の場（グループホーム）増設に向けた具体的ニーズ把握・調査
- ・生活施設利用基準内容の必要な更新

- ・ホーム重度利用者の資金余剰等の不均衡の改善に向けた自治体等への提言

⑥就労支援事業充実の取組

- ・ハーモニーB型の活動内容の確立と安定した運営・B型2ヶ所の特性に応じた連携と協力の強化・利用者主体の生産販売活動の推進

⑦障害児支援内容の確立

- ・サービスを必要とする重度利用児への効果的な支援の実施と実践の蓄積
- ・支援専門や生活介護職員と連携し、専門的且つ重層的な活動の提供

⑧相談支援事業の強化の取組み

- ・高齢化対応を始めとした連携強化、地域生活支援拠点等による地域生活支援の強化

＜組織運営の基本方針＞

3. にじの会の組織力（法人・事業運営組織体制）の向上を図る。

①今後の法人組織の確立

- ・常務理事による実務運営体制の向上・常務会・経営会議による集団指導力の強化
- ・理事会、評議員会による法定事項の適正な決定と外部との共同の推進

②事業組織体制と各事業組織・部門の人材確保

- ・主体的な事業組織体制の強化と運営しやすい組織づくり
- ・職員間、事業所間の連携やコミュニケーションの構築と業務標準化・平準化
- ・入所・ホーム間、日中・生活間の勤務体制における協力支援体制
- ・メンター（OJT推進者）や面談等の系統的なOJTによる育成体制の整備推進
- ・生活支援スタッフの安定的確保・ジョブトライアル制度による有効な体験の機会の提供

③人事制度の向上

- ・ライフステージに応じた働き方の例示とその為の条件整備の検討
- ・働きやすい労働環境整備・採用力の向上-採用広報や人事制度担当の各担当における役割の明確化

と効果的なブランディング戦略

- ・専門職制度の定着・各種制度の周知・研修の充実と人権擁護や支援技術等に関する職員育成力向上・職員が相談しやすい仕組み作りとメンタルヘルス向上・ハラスメント対策の強化（対応ルール作りを含む）・人事考課、異動ルール等の人事制度の向上と制度理解の促進

④DX推進（業務改善含む）

- ・コンサルタントを導入したDX推進による業務の効率化・ペーパーレス化の推進
- ・情報セキュリティの向上

⑤事業収支・経営内容の改善支援力の向上

- ・事業収支管理力の向上（管理職）・光熱費等インフレへの対応力向上（管理職）
- ・経営支援力の向上（業務部門）

⑥家族・後援会との連携の方向性

- ・後援会との連携・利用者支援に関する家族の理解の促進

⑦25周年事業

- ・25周年記念事業の企画・実施

2026年度 利用者・職員計画

（事業）	（利用者数）	（職員数）
生活支援事業	89名	56名
日中支援事業	107名	53名
就労支援事業	54名	18名
児童・業務他	8名	20名
合計	169名	147名



オーソレミオ 防犯訓練報告



2月6日（金）、三鷹警察署から2名の職員をお招きし、スタッフ9名が参加してオーソレミオにて防犯訓練を実施いたしました。

今回、お店の営業時間中に不審者のへ対応を想定し訓練を行いました。有事の際に「犯人を捕まえる」ことよりも「自分自身と利用者の身を守る」ことを最優先とし、迅速な通報と周囲への周知を徹底することを学びました。さすまたやカラーボールといった防犯器具の正しい使い方も再認識し、さすまたは犯人との距離を保ち時間を稼ぐための道具であることと、防犯ブザーやトランシーバーは日頃からすぐに使える場所に設置しておくことが重要であると再認識しました。

また、カラーボールの期限チェックや電池交換など、日頃のメンテナンスが命を守る行動に直結することを改めて痛感いたしました。不審者に対して毅然とした態度で臨む姿勢や、椅子を盾にするなど、現場で即座に役立つ知識を深める貴重な機会となりました。

今回とても多くの事を学びました。そして経験を活かし、万が一の事態に備え、スタッフ一同さらに安全意識を高めてまいります。
（未来工房にじ 山下典孝）



大沢にじの里 屋外トイレ 増設について

2026年2月、大沢にじの里に2つ目の屋外トイレが誕生しました。既存の屋外トイレには小便器と大便器が1つずつしかなく、屋外グループの利用者数に比べて足りていませんでした。職員からの強い要望から屋外トイレを増やす計画が持ち上がりましたが、計画の練り直しや工事費の高騰などの理由から構想から完成まで2年以上を費やしました。

新設した屋外トイレは、経済的なパネルハウスタイプです。しかし、照明と換気扇は人感センサーにより作動、小便器と温水洗浄便座は機能性に優れた最新のタイプを設置しました。

小便器は人が使用しないときでも、消臭のために時々水を流してくれます。また、温水洗浄便座は除菌水で便器やノズルを自動洗浄する衛生的な機能を持ち、また防汚機能にも優れ、職員に

も優しいです。さらに壁のリモコンは電磁誘導発電を利用したタイプで、ボタンを押すと発電され、赤外線信号を温水洗浄便座本体の受信機に飛ばして作動させるという技術を用いています。にじの会で一番高機能なトイレ達です♪

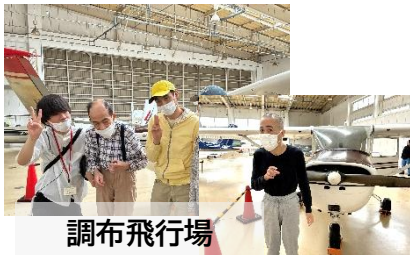
（設備・防災 金子修）



生活介護 支給金外出の実施状況報告



●大沢にじの里



調布飛行場



紅葉の稲城緑地公園



さつまいも餡作り

調理余暇



バレンタインパフェ作り



三鷹 絵と森と絵本の家



デフリンピック(京王アリーナ)



調布イオンシネマ

工房ごとで利用者方々による画像等の選択を通じて、館内では調理余暇、屋外では、地域イベントやレジャー施設へ積極的に出掛けることが出来ました。今後も、様々な地域資源を有効に活用しながら、利用者の方の意思決定と社会参加の機会向上を目的に、さらなる取り組みの推進を図っていきたいと思っています。（大沢にじの里 生活介護）

●にじアート



梅まつり



ほっとれーる



杉並アニメーションミュージアム



よみうりらんど



JAXA



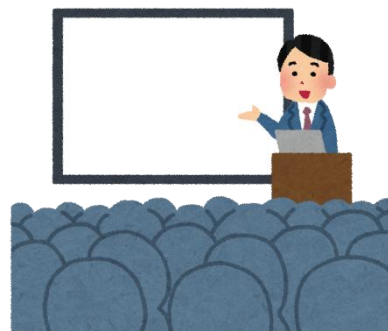
アールブリュットみたか

2025年度のにじアート支給金外出では、さまざまな余暇活動を通して、地域や社会にふれる機会を重ねてきました。一人ひとりの思いや特性に合わせながら、それぞれが安心して参加できる形で外出を行い、楽しみや発見のある時間につながりました。今後も、利用者の皆さんが幅広い経験を重ねられるよう、充実した余暇の提供を大切にしていきたいと思っています。／にじアート

2026 年度 年間スケジュール

◆行事

- | | |
|-----------------|----------|
| ① 4 月 3 日 (金) | ウォーキング大会 |
| ② 10 月 24 日 (土) | にじの会まつり |
| ③ 11 月 20 日 (金) | スポーツ大会 |
| ④ 12 月 18 日 (金) | クリスマス会 |
| ⑤ 1 月 8 日 (金) | 20 歳を祝う会 |
| ⑥ 1 月 29 日 (金) | 公開講座 |



◆宿泊旅行

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| ① 6 月 11 日 (木) ～ 6 月 12 日 (金) | 神奈川 (箱根) |
| ② 6 月 25 日 (木) ～ 6 月 26 日 (金) | 千葉 (鴨川シーワールド) |



◆日帰り旅行

- | | |
|----------------|------------------|
| ① 4 月 17 日 (金) | 神奈川 (八景島シーパラダイス) |
| ② 5 月 29 日 (金) | 東京 (よみうりランド) |
| ③ 9 月 18 日 (金) | 山梨① (果物狩り) |
| ④ 9 月 25 日 (金) | 山梨② (果物狩り) |



◆帰省期間・休業期間

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ① 4 月 29 日 (水) ～ 5 月 5 日 (火) | 5 月連休 |
| ② 8 月 9 日 (日) ～ 8 月 15 日 (土) | 夏休み |
| ③ 12 月 29 日 (火) ～ 1 月 4 日 (月) | 正月帰省 |



◆施設家族連絡会

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 9 月 19 日 (土) | 全体会 (生活懇談会) |
| ② 3 月 27 日 (土) | 全体会 (生活懇談会) |

『にじの会だより 97 号』 定価 50 円



発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611 FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3 TEL : 0422-39-2411 FAX : 0422-39-2412